

## 事項五 中日実業株式会社二関スル件

四四〇 一月十八日 小池政務局長宛(ヨリ)

裕繁鉄鉱公司トノ買壳契約履行ニ関シ援助方

依頼ノ件

大正四年一月十八日

中日実業株式会社(尾崎印)

外務省

小池政務局長殿

拝啓最近支那政府ニ於テ全国鉄鉱国有案ヲ実施セントスル

ヤニ承知仕候處大正三年十月七日裕繁鉄鉱公司代表霍守華  
ト当会社代表森格トノ間ニ右公司ガ支那政府ヨリ採掘権ヲ  
得タル鉱山ニ關シ予テ大正三年十月二十二日附ヲ以テ御報  
告申上候通リ買鉱契約<sup>(註)</sup>ヲ締致居候間該契約履行出来候様  
御援助被成下度奉懇願候 敬具

註 日本外交文書大正三年第二冊二四九文書参照

四四一 一月二十七日 小池政務局長宛(ヨリ)

中国政府鑄造銅貨ノ原料銅供給ニ関スル契約

書送附ノ件

附属書 大正三年十二月八日附財政部張壽齡及中日実業

公司孫多森調印ノ購銅契約写

附記 銅壳込ニ関スル中日実業ト中国政府トノ取極一  
件

大正四年一月二十七日

中日実業株式会社(尾崎印)

外務省

小池張造殿

拝啓陳者支那政府鑄造銅貨ノ原料銅供給ノ件ニ關シテハ弊  
社倉知副總裁ヨリ御面談申上置候處右契約写別紙差出候間  
御查閱相成度尙未本契約訂結ノ義ハ弊社ニ於テ關係者以外  
ニ對シ嚴ニ秘密ニ致居候間御含置被下度候右申上度勿々拝  
具

(欄外註記)

「本件ニ關シテハ一月二十七日倉知氏來談、同日本書ヲ送付シ  
来レリ」

(附屬書)

中日實業公司 財政部 訂立購銅合同  
第一條 財政部於各造幣廠需用銅効時儘先向中日實業公司  
購買

但他商售銅價日比公司較廉時財政部得商他商訂購  
或公司減價與至廉之價相等爲度

第二條 銅價應以中國銀幣計算  
第三條 購銅時訂立分合同應訂明自簽字之日起經過若干日  
始行分批或全數交銅每次銅効過磅後亦應經過若干  
日始行交價

第四條 鐵水腳保險費進口全稅半稅以及一切雜費均歸公  
司擔任  
第五條 公司運交銅効如牌號不對或成色不足除退換銅効外  
應另繳違約賠償金  
前項違約賠償金之數目於訂立分合同時議定之  
第六條 本合同有效期限以二年爲限期滿後得以雙方面同意  
續行修訂

第七條 本合同自雙方簽字之日發生效力  
第八條 本合同共繕兩份財政部中日實業公司各執一份  
中華民國三年十二月八日簽押

五 中日実業株式会社ニ關スル件 四四一

四二三

五 中日実業株式会社二関スル件 四四二

前項ノ違約賠償金額ハ部分契約訂立ト同時ニ之ヲ議定ス

ヘシ

第六条 本契約ノ有効期限ハ二年トス期限満了後双方ノ同意ヲ以テ契約ヲ続訂スルヲ得

第七条 本契約ハ双方調印ノ日ヨリ効力ヲ生ス

第八条 本契約ハ同文二通ヲ作成シ財政部中日実業公司各

一通ヲ保存ス

中華民国三年十二月八日調印

財政部 張壽齡

中日実業公司 孫多森

(附記)

銅壳込ニ関スル中ト支那政府トノ取極一件

大正三年末倉知中日実業会社副總裁北京ニ滯在中支那政府ニ對スル銅ノ一手販売ニ關シ同会社總裁孫多森ト支那財政部次長張壽齡トノ間ニ一ノ契約締結セラレタリ然ルニ從來

支那ニ對スル銅ノ供給ハ主トシテ三井並古河ノ手ニ収メラ

レ兩者互ニ競争ノ姿ニアリシガ右一手販売契約成立ノ結果

今ヤ中日実業ハ之等兩者ト話合ヲ付ケサルベカラサル情勢ニ立至リシヲ以テ倉知副總裁帰朝後右兩者ト交渉ヲ開始シ

中日実業株式会社

外務省

政務局長 小池張造殿

拝啓陳者昨二十日北京ニ於テ開会ノ弊社第二回定期總会ニ

於テ支那側重役左ノ通改選相成候間此段御報告申上候

勿々 敬具

総裁 李士偉(前取締役)

専務取締役 方燕年(新任)

取締役 孫多森(前専務取締役)

監査役 孫方尚(新任)

尚前總裁楊士琦氏ハ爾今相談役トシテ会社ノ為メ尽力相

成ルベキ筈ニ有之候

中国側重役改選ノ事情ニ關シ報告ノ件

附属書 四月二十一日附倉知中日実業副總裁ヨリ尾崎中日実業取締役宛右報告

大正四年四月三十日

(五月一日接受)

五 中日実業株式会社二関スル件 四四三

四二四

種々曲折ヲ見タル上結局兩者ハ中日実業ノ一手販売ヲ承認スルコトトナリ其結果最近ニ於テ中日、三井、古河間ニ極秘ノ取極ヲ了セリ、其要領ハ左ノ三点ナリ

第一、支那ニ壳込ム銅ハ總テ中日実業ノ手ヲ經ルコト

シ三井古河双方ノ手ヨリ供給スル分量ハ過去三年間ニ於ケル各方ヨリ壳込ミシ平均分量ニヨル

第二、本取極ニ於ケル銅ノ相場ハ倫敦ノ相場ニヨル

第三、本取極ニ有効期間ハ一ヶ年トス

尚右取極ノ儀ハ未タ中日実業ノ支那側役員ニスラ通報セサル所ナルヲ以テ本省ニ於テモ極秘トシテ取扱方希望スル趣ニテ尚前記同社ト支那政府側トノ契約写ハ別紙ノ通一月二十七日同会社ヨリ送付シ来レリ

註 右ハ購銅契約ニ關シ一月二十七日倉知中日実業会社副社長ガ小池政務局長ヲ來訪ノ際為シタル談話ノ要旨ヲ政務局第一課ニ於テ覚エトシテ摘記保存シタルモノナリ

四四二 四月二十一日 中日実業株式会社(小池政務局長宛)ヨリ

第二回定期總会ニ於テ中国側重役改選ノ件

大正四年四月二十一日

中日実業株式会社(尾崎印)

外務省政務局長

小池張造殿

拝啓

弊社支那側重役改選ノ事情ニ關スル倉知副總裁報告書写別紙御送付申上候御一覽被下度奉願上候 勿々敬具

(附屬書)

大正四年四月二十一日

北京ニテ

倉知鐵吉

東京本社

取締役 尾崎敬義殿

拝啓陳者本社總会ハ予定ノ通昨日北京總行ニテ開会致候總

会ノ議事等ニ付テハ十八日午後開会ノ日支兩國重役會議ニ於テ予メ詳細ニ支那側ト打合ヲ遂ケ置タル義ニ付諸事故障

ナク進行シ營業報告及計算承認ノ件、監査役選任ノ件、取

締役選任ノ件、共同代表取締役選任ノ件總テ無事結了致候

右總会ニハ楊士琦、李士偉、孫多森、胡宗瀛等北京在住者ノ外印錫璋、張趾麟ノ両氏態々上海ヨリ來燕出席致、日本

四五五

側ニ於テハ小生及森氏ノ外小田切萬壽之助氏出席致シ候  
本總会三於テ最重要ナル問題ハ總裁及其他支那側役員ノ選  
任ニ有之候間右三閑スル件ニ付左ニ御報告申上候

(一) 楊士琦氏 楊士琦氏ノ總裁辭任ノ件ニ付テハ前記日支  
両國重役會議ノ席上ニ於テ同氏ヨリ公然其旨申出候ニ  
付小生ヨリ右辭任ノ事タル誠ニ遺憾ニ堪ヘサル次第ナ  
レドモ種々ノ事情ヲ承レハ余儀ナキ義ト認メラルニ  
付愛惜ノ念ヲ以テ止ムナク之ニ同意スル旨並ニ楊氏力  
總裁ヲ辭シタル後ト雖トモ相談役トナリ十分会社ノ為  
尽力アランコトヲ切望シ且期待シ居ルコトヲ述ヘ尚右  
ハ單ニ小生一箇ノ私見ニアラス日本側一同ノ意見ヲ代  
表スルモノナリト申加ヘ候處楊氏ハ自分ハ總裁辭任後  
ト雖相談役トナリテ無論十分ニ会社ノ為メ尽瘁スル積  
ナルノミナラス自分ハ会社改造ノ際ニ於ケル創立者ト  
モ云フヘキモノナルヲ以テ終始会社ノ為メ努力スヘキ  
義務アリト考ヘ居ル旨言明致候右同氏ノ言明ハ必シ  
モ一片ノ辞令ニアラスシテ同氏カ本社ニ対シテ有スル  
真意ヲ披瀝セルモノト相考ヘ申候

(二) 李士偉氏 楊士琦氏ハ小生着燕前森取締役ニ対シ總裁  
締役ヲ辭スヘキハ自然ノ成行ニハ御座候ヘ共可成同氏  
ノ同情ヲ繫キ候方得策ト考居候処小生着燕後同氏  
直チニ旅舍ニ來訪シ他ノ事項ヲ話シタル後内々辭任ノ  
意ヲ洩シ候間小生ハ右ハ小生ノ全ク意外ニ感スル処ナ  
リトテ遺憾ノ意ヲ表シ何トカ再考シ呉レタキ旨ヲ申述  
置候然ルニ十八日ノ重役會議ノ節楊士琦氏ヨリ孫氏ハ  
健康上其他一身上ノ事情ヨリ専務ノ地位ヲ辭シタキ意  
向ナル旨公然申出候間小生ハ孫氏カ昨年楊氏代理トシ  
テ來日セラレタル以來終始会社ノ為ニ尽力セラレ会社  
ト深キ關係アル人ナルニ会社ノ基礎漸ク確立セントス  
ル今日ニ於テ早速其辭任ヲ見ルカ如キハ甚タ遺憾ノ次  
第ナリト考ヘ十七日會見ノ際ニモ直接同氏ノ再考ヲ求  
メ置タル次第ナルガ健康其他ノ事由ヨリ余儀ナク専務  
ヲ辭セラルルトノ事ナレハ誠ニ致シ方ナク此上ハ今後  
トモ会社ノ為メニ十分ノ尽力セラレントヲ望ム外ナ  
キ旨申出候處孫氏ハ自分ハ専務ヲ辭スルモ平取締役ト  
ナリ出来得ル丈ケノ尽力ヲナス積ナル旨申述候其後同  
氏ノ態度等ニ依ルモ同氏ハ別ニ大シテ不快ノ念ヲ有セ  
サル如ク其専務辭任モ其内任官ノ沙汰アル為トモ申伝

締役ヲ辭スヘキハ自然ノ成行ニハ御座候ヘ共可成同氏  
ノ同情ヲ繫キ候方得策ト考居候処小生着燕後同氏  
直チニ旅舍ニ來訪シ他ノ事項ヲ話シタル後内々辭任ノ  
意ヲ洩シ候間小生ハ右ハ小生ノ全ク意外ニ感スル処ナ  
リトテ遺憾ノ意ヲ表シ何トカ再考シ呉レタキ旨ヲ申述  
置候然ルニ十八日ノ重役會議ノ節楊士琦氏ヨリ孫氏ハ  
健康上其他一身上ノ事情ヨリ専務ノ地位ヲ辭シタキ意  
向ナル旨公然申出候間小生ハ孫氏カ昨年楊氏代理トシ  
テ來日セラレタル以來終始会社ノ為ニ尽力セラレ会社  
ト深キ關係アル人ナルニ会社ノ基礎漸ク確立セントス  
ル今日ニ於テ早速其辭任ヲ見ルカ如キハ甚タ遺憾ノ次  
第ナリト考ヘ十七日會見ノ際ニモ直接同氏ノ再考ヲ求  
メ置タル次第ナルガ健康其他ノ事由ヨリ余儀ナク専務  
ヲ辭セラルルトノ事ナレハ誠ニ致シ方ナク此上ハ今後  
トモ会社ノ為メニ十分ノ尽力セラレントヲ望ム外ナ  
キ旨申出候處孫氏ハ自分ハ専務ヲ辭スルモ平取締役ト  
ナリ出来得ル丈ケノ尽力ヲナス積ナル旨申述候其後同  
氏ノ態度等ニ依ルモ同氏ハ別ニ大シテ不快ノ念ヲ有セ  
サル如ク其専務辭任モ其内任官ノ沙汰アル為トモ申伝

## (四)

ヘラレ候

(三) 孫多森氏 李士偉氏總裁トナル以上ハ孫多森ノ専務取  
締役ヲ辭スヘキハ自然ノ成行ニハ御座候ヘ共可成同氏  
ノ同情ヲ繫キ候方得策ト考居候処小生着燕後同氏  
直チニ旅舍ニ來訪シ他ノ事項ヲ話シタル後内々辭任ノ  
意ヲ洩シ候間小生ハ右ハ小生ノ全ク意外ニ感スル処ナ  
リトテ遺憾ノ意ヲ表シ何トカ再考シ呉レタキ旨ヲ申述  
置候然ルニ十八日ノ重役會議ノ節楊士琦氏ヨリ孫氏ハ  
健康上其他一身上ノ事情ヨリ専務ノ地位ヲ辭シタキ意  
向ナル旨公然申出候間小生ハ孫氏カ昨年楊氏代理トシ  
テ來日セラレタル以來終始会社ノ為ニ尽力セラレ会社  
ト深キ關係アル人ナルニ会社ノ基礎漸ク確立セントス  
ル今日ニ於テ早速其辭任ヲ見ルカ如キハ甚タ遺憾ノ次  
第ナリト考ヘ十七日會見ノ際ニモ直接同氏ノ再考ヲ求  
メ置タル次第ナルガ健康其他ノ事由ヨリ余儀ナク専務  
ヲ辭セラルルトノ事ナレハ誠ニ致シ方ナク此上ハ今後  
トモ会社ノ為メニ十分ノ尽力セラレントヲ望ム外ナ  
キ旨申出候處孫氏ハ自分ハ専務ヲ辭スルモ平取締役ト  
ナリ出来得ル丈ケノ尽力ヲナス積ナル旨申述候其後同  
氏ノ態度等ニ依ルモ同氏ハ別ニ大シテ不快ノ念ヲ有セ  
サル如ク其専務辭任モ其内任官ノ沙汰アル為トモ申伝

(四) 方燕年氏 重役會議ノ席上楊氏ヨリ支那側株主ハ孫多  
森氏後任トシテ方燕年氏ヲ専務取締役トナシタキ希望  
ナルニ付同意ヲ望ム旨申出候處同人ハ専務トシテハ聊  
カ物足ラサル感有之候得共楊士琦氏ヨリ同人ハ曾テ提  
学使（勅任官）ノ任ニアリタルコトモアリ官歴高キ人  
ナルノミナラス昨年来總行ニ在リテ事務ヲ主宰シ居レ  
ル者ニテ外ニ対スル交渉等ハ李士偉氏之ニ當リ内ノ事  
務ハ同氏之ヲ担当スルコトセハ極メテ適當ナリト認  
メ支那側株主ヨリ同氏ヲ推薦スル次第ナル旨懇話有之  
候方氏ハ李士偉氏及孫多森氏ト密接ノ間柄ニ有之候由  
ナルノミナラス楊氏ヨリ斯ク推舉アリタルコト故同意  
スル方宜敷ト存シ同意ヲ与ヘ候

(五) 胡宗瀛氏 胡監査役ハ今回滿期改選ノ筈ノ處同氏ハ過  
般吉林山林局長ニ任命セラレタルヲ以テ十八日ノ重役  
會議ニ於テ其後任者トシテ支那側ヨリ印錫璋氏ヲ推薦  
シタキ希望ナル旨申出有之候然ルニ印氏着京ノ上多忙  
ノ故ヲ以テ之ヲ断リタルニ依リ支那側ニ於テハ手違ヲ  
生シ急ニ孫方尚氏ヲ推薦スルコトニ決シ其旨申出候同

五 中日実業株式会社ニ閲スル件 四四四 四四五

氏ノ監査役タルハ聊カ物足ラサル義ニハ有之候ヘ共日

支交渉ノ為時局切迫セルノ説アリ速カニ總会ヲ終了セ

サレハ如何ナル不測ノ故障起ルヤモ難保形勢ニ有之候

間忍シテ之三同意ヲ与ヘ候

日支交渉案件ノ為メ両国關係ノ事業ハ何レモ尠ナカラサル

影響ヲ蒙リ居ル際ナルニ付本社ノ總会ニ閲シテモノ一二モ

何等カノ波瀾ヲ生スルコトナキヤト憂慮スル者モ有之候様

ノ次第ニ御座候處前記ノ通諸事平穩円満ニ解決ヲ遂ケタル

ハ御同慶ノ至リニ存候右御報告迄如斯御座候 敬具

四四四 五月十八日 小池政務局長宛

中国政府内部排日のニシテ協議ノ望ナキ件

大正四年五月十八日

中日実業株式会社(尾崎印)

外務省

政務局長 小池張造殿

拜啓

陳者北京ニ於ケル目下ノ形勢ニ就キ別紙写ノ通り來電有之  
候ニ付茲許御内覽ニ供シ候 勿々 敬具

被成下十分ノ御援助ヲ賜ハリ候様御配意相煩度此段奉懇願  
候 敬具

追テ本年一月十八日附書状ヲ以テ小紫英侍ヨリ御保護相  
願居候安徽省太平府鉄山ノ義ハ弊社ニ於テ從来内々極メ  
テ密接ノ関係ヲ有スルモノニ御座候間同鉄山ニ閲スル權

利保護方ニ付テモ御高配ノ程願上候

(欄外註記)

「九月二十七日倉知氏持參」

(別 紙)

九月二十六日午前六時三十分着電

上海滯留 森取締役発 本店宛

孫多森一派ハ安徽省鉄山ノ事業ヲ通惠公司ノ手許ニ横取  
ル為ノ激烈ナル運動ヲ開始セリ依テ自分ヨリ北京帝国公使  
ニ援助ヲ願ヒタルニ北京公使ハ取敢ヘス非公式ニ支那当事  
者ニ忠告スル考ヘナレドモ更ニ有力ナル援助ヲ為スニハ一

応外務大臣ノ訓令ヲ得ル必要アリトノコトナリ就テハ日本  
人關係ノ鉄山ヲ支那政府ニ密接ノ関係アル支那人中ニ直  
隸開平炭礦ヨリ借款シテ經營セントスル計画アル由ニ付日  
本人ノ権利維持ノ為メニ適宜ノ処置ヲトルベキ旨外務大臣

四二八

(別 紙)

北京來電写

五月十七日午後十一時着電

支那政府内部ニ何カ排日的打合アルモノト見エ、支那官民

一般ニ日本人トノ協議ヲ避ケル事實アリ、此際何事ヲ持出

シテモ進行スル望ミ薄シ、暫ク時機ヲ見ルノ外策ナキノ形

勢ナリ

四四五 九月二十七日 中日実業株式会社(ヨリ  
小池政務局長宛)

安徽省鉄山ノ権利保護方願出ノ件

大正四年九月二十七日

中日実業株式会社

外務省

政務局長 小池張造殿

拜啓陳者安徽省繁昌縣桃冲鉄山ノ件ニ付テハ客年十月二十一日及本年一月十八日附書状ヲ以テ弊社締結ノ契約書写御送致シ且該權利御保護方願上候次第御座候處今回上海滯在中ノ森取締役ヨリ別紙写ノ通り電報有之候ニ付テハ何卒貴省大臣ヨリ在北京帝国代理公使ニ弊社權利保護方御電訓

ヨリ電信ニテ北京公使ニ命ゼラルル様外務大臣ニ願出ラレタシ右北京公使ヨリ御注意モ有リタルニ付電報ス時宜ニ依リ外交問題ニ移サザレバ權利確保困難ナルベキニ付至急右様取計ヒアリタシ

四四六 九月二十七日 大隈兼任外務大臣(ヨリ  
代理公使宛) (電報)

安徽省政府桃冲鉄山等ノ権利保護ニ閲シ措置方

訓令ノ件

第五四三号

孫多森一派ハ通惠公司ヲシテ安徽省鉄山ノ事業ニ當ラシメンカ為激烈ナル運動ヲ開始シタル趣ヲ以テ同省ノ繁昌縣桃冲及太平府当塗縣ノ各鉄山ニ對スル權利保護方中日実業会社ヨリ願出テタル所本件ニ閲シテハ委細已ニ森然ヨリ貴官へ申出デタル趣ニ付果シテ事實ナルニ於テハ右保護方可然措置アリタシ

四四七 十月八日 中日実業株式会社(ヨリ  
小池政務局長宛)

安徽省鉄山ノ権利保護方ニ閲シ小幡代理公  
使曹外交次長ニ要請シタルニ付報告ノ件

五 中日実業株式会社ニ閲スル件 四四六 四四七

四二九

大正四年十月八日

中日実業株式会社(尾崎印)

啓者

安徽鉱山之事

九月二十七日附弊書ヲ以テ権利御保護方懇願申上候弊社關係安徽省鐵山ノ件早速御配慮被下候段難有奉鳴謝候本日別紙ノ通り北京總行ヨリノ通知ニ相接シ申候間御閲覽ニ供シ奉リ候先ハ右御礼旁 奄々拜具

(別紙)

大正四年十月一日

北京總行

東京本店御中

草々

右ニ関シ上海小田文博氏態々上京被致小幡書記官ニ陳述被致候事件ニ付本日小幡代理公使ニ面談致候處外務省ヨリ同代理公使ニ宛テ安徽鉱山ハ日本人ノ既得権ニ付充分保護スル様支那外務部へ交渉セヨトノ訓電到来致候為メ代理公使ハ昨日午後外交部ニ至リ曹次長ト會見セラレ逐事情被申述候處曹次長ハ既往ノ事実之詳細ヲ知悉セザルガ故支那当事者ニ就キ事情ヲ聞キ置クトノ回答アリシ由ニテ未タ何等要領ヲ得タル返事モ不有之具合ニ御座候  
尚明日小幡代理公使ハ楊士琦氏ト會見ヲ被致其節外務省ヨリノ訓電ヲ示シ充分懇談致ストノ事ニ御座候  
先ハ右迄

## 事項六 滿蒙鉄道借款細目交渉ニ關スル件

(四平街鄭家屯鐵道借款)

四四八 六月十五日 加藤外務大臣ヨリ  
在中國日置公使宛(電報)

### 滿蒙鉄道借款細目交渉再開ニ關シ中國側ノ意

向探知方ノ件

第四二〇号

側ヘ提出済ノ借款契約細目案ニ多少変更ヲ加フルヲ要スル箇所アルモ右ニ付テハ貴官ヨリ交渉再開ニ關スル御見込電報ニ接シタル上ニテ更ニ何分ノ義申進スヘシ

四四九 六月十九日 在中國日置公使ヨリ  
加藤外務大臣(電報)

### 滿蒙鉄道借款細目交渉再開ニ關シ中國側同意

並東清鉄道及南滿鉄道ニ對シ中國督辦派遣申

出ニ付請訓ノ件

第三七六号

貴電第四二〇号ニ關シ六月十八日小田切カ梁交通總長ト会込)丈ヲ至急敷設スルコト致度意向ナリ將又前貸金ニ付テハ客年往電第一三五号ヲ以テ二百万円迄ニ支出方差支ナキ旨御含迄申進タルモ右ハ全線ニ対スル額ニシテ此際ハ差当リ単ニ一部分タル四平街鄭家屯線ニ対スル前貸金ナルカ故ニ成ヘク少額ニテ相濟様致度又愈々交渉再開ト決定セハ金融市場ノ現状其他ノ關係上客年四月十日貴館ヨリ支那

六 滿蒙鉄道借款細目交渉ニ關スル件 四四八 四四九

四三一